



125th
Anniversary
since 1900

相模女子大学 日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店新宿本店アカデミック・ラウンジシリーズ
相模女子大学 日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える vol.12

新作歌舞伎

『もののけ姫』からひも解く令和の歌舞伎

松竹株式会社

歌舞伎演劇製作部芸文室

戸部和久氏



2026

7.19 日 14:00 - 15:30 (13:40 開場)

紀伊國屋書店新宿本店 3階 アカデミック・ラウンジ

参加無料・入退場自由

事前に二次元コードよりお申し込みをお願いいたします。

(事前申込なしのお客様もご参加いただけます。当日会場までお越しください。)



申込期限
7/17 (金)
17:00 まで

新作歌舞伎

『もののけ姫』から

ひも解く

令和の歌舞伎

2026年7月、8月に新橋演舞場で上演される新作歌舞伎『もののけ姫』を中心に、これまで数多くの新作歌舞伎の脚本・演出を手掛けてきた戸部和久氏が、新作歌舞伎が誕生するまでの秘話を語ります。古典歌舞伎の趣を大切にしながらも人気アニメや漫画とコラボレーションした新作歌舞伎を通して、「令和の観客の心をつかむ歌舞伎」に必要な工夫や、これからの歌舞伎に求められるものなど、「創作」という視点から歌舞伎の魅力をお伝えします。

講師

松竹株式会社 歌舞伎演劇製作部芸文室

戸部和久氏



日本大学芸術学部演劇学科卒業後、松竹株式会社に入社。歌舞伎を中心に脚本・演出・作詞を手掛け、古典と現代を融合した新作歌舞伎を数多く生み出している。代表作に『東海道中膝栗毛』シリーズ、新作歌舞伎『風の谷のナウシカ』、『流白浪燦星（ルパン三世）』など。2026年は自身が脚本を手掛ける『流白浪燦星』の第二弾、スタジオジブリ作品の歌舞伎化2作目となる『もののけ姫』が上演予定。

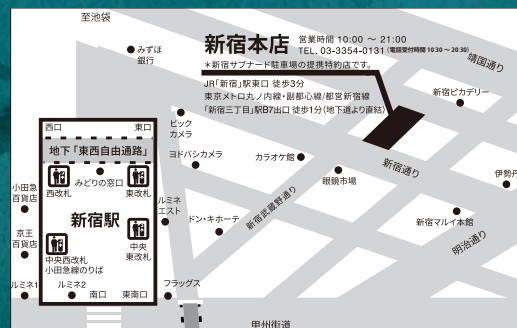
会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店3階 アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より 徒歩3分

地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅 B7出口より 徒歩1分（地下道より直結）



相模女子大学日本学国際研究所とは…

相模女子大学は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に相模女子大学日本学国際研究所を開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っては見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。

お問い合わせ先

相模女子大学日本学国際研究所 siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp



研究所
HP



大学
HP